

プラム・プルーン特報 No.1 南部

令和2年2月20日
JA中野市営農センター
JA中野市プラム部会

本年は、暖冬で経過し、気温、地温とも平年に比べ高く、生育は進んでおります。
(発芽3月7日頃南部～12日頃北部?)と予想されますが、春季の気象は変動が激しく生育状況も常に変化しています。プラムの生育初期は品種間、並びに地域間差等生育の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(平岡定点) 太陽

太陽	平年	H27	H28	H29	H30	H31	R2
発芽日	3/24	3/22	3/18	3/27	3/23	3/22	3/10?

*発芽前の防除（圃場での防除体制が整い次第、早急に散布）

散布時期：プラム2月下旬～（発芽前） 発芽10日～1週間前頃
：プルーン3月上中旬（発芽前） //

*他の園地や隣接するハウスのビニールにかからないようにする。

散布薬剤： 水 90ℓ
展着剤 10ml
石灰硫黄合剤 10ℓ

対象病害虫：(ふくろみ病)・(胴枯病)・カイガラムシ類

散布量：10a当り 300ℓ

注意事項：石灰硫黄合剤に代えてトレノックスフロアブル500倍（収穫14日前、3回）を使用してもよい（展着剤加用）トレノックスフロアブル500倍を使用する場合展着剤は、アピオンーE1000倍かk.kステッカー3000倍を使用する。尚、k.kステッカーは必ず最後に調合する。

※ふくろみ病対策

ふくろみ病の発生園は、発芽3～5日以内にトレノックスフロアブル500倍（収穫14日前、3回）を散布する。（展着剤ーアピオンーE、k.kステッカー）

・休眠期防除で、ホーマイコート100倍を使用しても良い。

* カイガラムシ類の発生園は合剤散布ー5日前にはスプレーオイル20～30倍（発芽前）を単用散布する。

※（混用も可能ですが、防除が遅くなると薬害の心配が生じます。）